

第14次 実施計画シート兼初期診断書(継続用)

事務事業名		公園再整備のすすめ事業		整理No.	17
				作成年度	平成20年度
事務事業の概要	担当課	都市計画課	事業別	<input checked="" type="checkbox"/> 非建設事業 <input type="checkbox"/> 建設事業	
	体	大-中-小	I-2-(2)集う公園・遊び場		
	系	施策のあらまし	③ 市民参加による公園整備の推	ページ	
	マニフェスト	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し			
実施期間	18 年度～ (29) 年度 (— 年間)				
根拠法令要綱等	名称				<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務
	市の実施義務	<input type="checkbox"/> 義務規定 <input type="checkbox"/> 努力規定 <input checked="" type="checkbox"/> 任意規定 <input type="checkbox"/> その他 ()			
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他 ()				

目的(何のために)	より多くの市民に利用され、親しまれる公園を創出するため、老朽化や利用者のニーズと合わなくなったりして利用されなくなった公園を再整備公園として選定すること。	対象(何・誰を対象に)	地域住民及び公園利用者
手段(どの様な事業を実施して)	発起人グループ主催によるワークショップ活動などを後援し、審査会形式で再整備に相当する提案かどうかを判定する。	成果(どのような成果を期待するか)	再整備公園の選定にあたり、一定のレベルの理由付けが得られる。利用者が整備内容を考えることにより、个性的でかつ使える公園になることが期待できる。また、整備後の維持管理や運営についても、発起人グループの継続的な活動が期待できる。

事業環境	筑紫地区等近隣自治体との比較(実施状況、サービス水準の平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 同程度 <input type="checkbox"/> 低い	類似事業なし
他課等の関連事業	課名	都市計画課(公園緑化担当)	
	事業名	街区公園再整備事業	

視点別評価	評価項目	1次		2次	
		1次	選択理由、特記事項等	2次	選択理由、特記事項等
市関与の妥当性	①市民等のニーズ	3	再整備の対象公園を利用者自らが提案し、地域住民の意見を反映した再整備へと導くことを目的としており、公平・公正な判断を行うためには行政の関与は不可欠である。	3	市民参加による事業計画は、参加者のニーズが強調された内容となりやすく、市が期待している目的や方向性が軽視される傾向になりやすいことから、行政の公平な視点と協議の場におけるコーディネーターの能力が重要である。
	②法的な義務性	1			
	③代替性	3			
	合計(9点中)	7		7	
手段・内容の適切さ	①担い手の妥当性	3	再整備公園の選定を従来の要望型から、市民からの提案とワークショップで決めるため、決定の公平さ、過程の透明さが図られる。また、基本的再整備案も併せて決まるので、合理的である。	3	再整備にあたっては、公園という定義にとどまらず、市民環境の整備という広義の視点で、時代及び地域ニーズの変化に応じた抜本的な変更も必要である。
	②受益者負担	3			
	③効率性	3			
	合計(9点中)	9		9	
有効性	①目的の達成状況	3	利用度の低い公園が多数存在し、再整備が必要であることは、緑の基本計画でも重点施策として位置づけされている。再整備対象公園の適切な選定と再整備アイデア作りの方法としては本事業はかなり有効であるといえる。	3	1次診断のとおりである。
	②成果の状況	2			
	③上位施策への貢献度	3			
	合計(9点中)	8		8	

診断結果	担当課長所見
1次(事業課)診断	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了 改善点及び改善を実現するための条件
	事業は継続するべきと考えるが、小規模な改造提案などについては、手続きを簡略化し、2カ年程度で整備まで完了するパターンも考慮しても良いかと思う。

2次診断	診断結果	診断理由等	事業費	人員
			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> なし
	<input type="checkbox"/> 拡大・重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続する <input type="checkbox"/> 統合する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 縮小する(検討分も含む) <input type="checkbox"/> 廃止・休止する <input type="checkbox"/> 終了	若干機能が高めの再整備事業となっていたようだが、今年度から見直しが行われ最適化が進んでいる。 今後は、地元の役割分担を更に求めた協働型の再整備事業への転換を図り、一定基準以上の整備内容に対して地元負担を求めるなど、よりコスト縮減が図られる事業内容にしていく必要がある。現在は、市が市民の意見を聞いて再整備し、その維持管理は地元が行うというのが役割分担だが、今後は、整備面においても協働による再整備を行うという考え方を検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 拡大